

発明の名称: 分散ノード通信システム

利用・用途・応用分野

無料開放特許

IT・通信・ソフトウェア、エリア通信ネットワーク、無線タグ等多チャンネルネットワーク製品

目的・課題

近年同時にあらゆる所との通信」を可能とするユビキタス通信の実用化が注目を集めているが、従来の通信システムはユビキタス通信に対して必ずしも適合性がよいものではなかった。通信形態の自由度があり、多様な形態の応用分野に適用可能であり、ユビキタス通信への適合性の良好な通信システムの提供を課題とする。

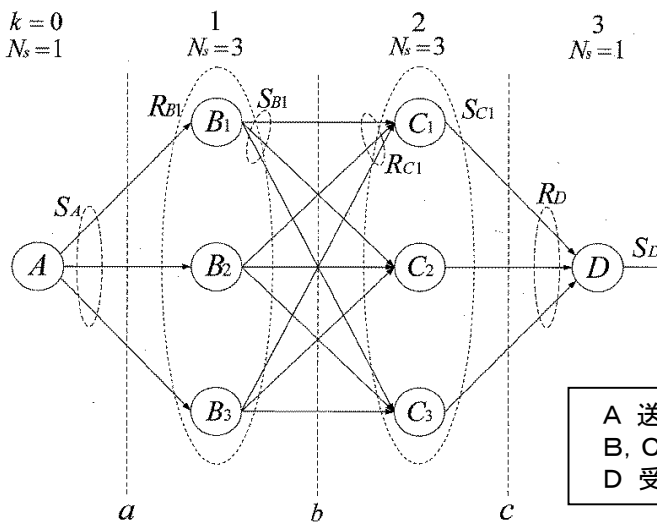
解決ポイント



各通信ノードの送信信号に対しリンク識別用の拡散系列による拡散により、各通信ノードから受信したリンク信号の識別分離が可能である。複数の通信ノードから受信したリンク信号の伝搬過程で生じた位相回転を修正できる。その結果、所望の1対の通信ノード間のデータ伝送で、経由した通信段数と各通信段を構成するノード数が増大するに従って受信S/N比は増大するので受信レベル変動の大きな空間でも、低い送信電力を用いて誤り発生確率が小さく安定な通信を提供できる。

研究概要・アピールポイント

【分散ノード通信システムの基本構成を示す図】



本分散ノード通信システムは、通信形態の自由度が大きく、多様な形態の応用分野に適用可能である。ユビキタス通信への適合性も良好な通信システムである。

A 送信ノード
B, C 中継段
D 受信ノード

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp